

生涯現役地域づくり環境整備事業の実施地域の取組例（帯広地域雇用創出促進協議会・令和5年度採択）

- 2005年 北海道帯広市を中心とする十勝地域の雇用機会拡大につながる事業を実施し、その事業の核となる産業において新たな雇用を創出することを目的として、帯広地域雇用創出促進協議会を設立。以後、約15年にわたり中途求職者の雇用拡大を推進する厚生労働省や帯広市の事業に取り組む。
- 2020年 厚生労働省委託事業「生涯現役促進地域連携事業（連携推進コース）」開始。
- 2023年 厚生労働省委託事業「生涯現役地域づくり環境整備事業」開始。**シニアをはじめ、ひとり親など子育て世代や障がい者、一般求職者など多様な人材をダイバーシティ人材と位置づけ、企業とダイバーシティ人材とのマッチング支援に取り組んでいる。**



人口 159,452人
男 76,078人
女 83,497人
世帯数 90,349世帯
※令和7年10月現在
(外国人を含む)

【生涯現役地域づくり環境整備事業 事業内容/事業目標】

1. 「ジョブジョブとかちダイバーシティ」の構築、運営
2. ダイバーシティ人材向け企業お仕事説明会の実施
3. シニア世代向けインターンシップ事業の展開
4. 農福連携や就労支援事業所と連携したダイバーシティ人材の人材マッチング
5. 企業向け、求職者向け意識改革セミナーの実施
6. 全方位型アナログ型就労支援メニューの拡充
7. 地域のダイバーシティ人材支援団体や企業団体と連携した事業展開

【重点業種】

農業及び農業関連、食関連、観光関連、建設関連、福祉（介護・保育）

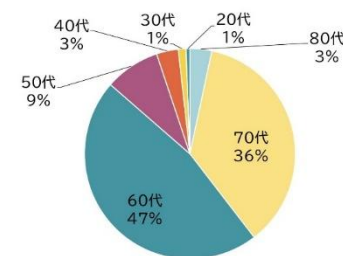


シニア世代をはじめとして、ひとり親など子育て世代、障がいのある方、一般求職者などを「ダイバーシティ人材」と位置づけ、多様な人材と企業との就労支援をするマッチングシステム。多様な人材が地元企業へ情報配信することで、企業側からのアプローチによる面接、採用活動を行う。さらに、協議会支援員が企業側や求職者側のアドバイス役を担い、両者の条件面などの理解促進、調整の手助けとなることで、マッチング精度を高める役割を果たす。

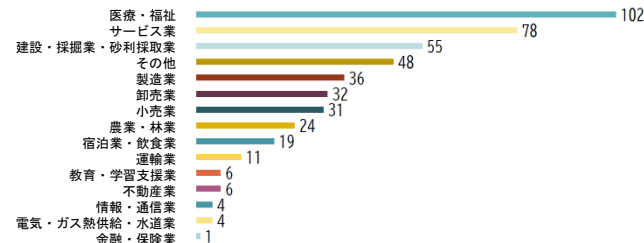
★構成員一覧★

帯広市/ 帯広商工会議所 / 一般社団法人 北海道中小企業家同友会とかち支部 / 公益社団法人 帯広市シルバー人材センター / 社会福祉法人 帯広市社会福祉協議会 / 北海道十勝総合振興局 / 公益財団法人とかち財団 / 帯広信用金庫/十勝障がい者就業・生活支援センターだいち / 一般社団法人とかち地域活性化支援機構

年代別登録者状況 登録者数508名（2025年10月24日 現在）



登録企業 457社（2020年～2025年10月24日 現在）



【環境整備事業終了後のビジョン・取り組み】

【ビジョン】

- ・ これまで培ってきたシニア就労支援のノウハウを生かし、十勝管内のシニア世代を対象として企業とのマッチング支援をおこなう。

【取り組み】

- ・ 環境整備事業終了後は、マッチング事業を帯広市に移管したうえで継続していく。
- ・ ジョブジョブとかちシニアとして、人材マッチング支援を継続して実施。